

学習日     月    日      年    組    番    氏名

1 A中学校, B中学校の男子バスケットボール部員による垂直跳びの記録は次のようであった。 (p. 205, 206)

垂直跳びの記録(cm)	
A中学校	B中学校
34, 44, 45,	67, 45, 72,
60, 39, 68,	38, 42, 51,
51, 76, 63,	55, 41, 36,
57, 68	65, 36, 40



- (1) (ア)~(キ)にことばを入れなさい。
- ① 資料の分布のようすを調べたり, 伝えたりするとき, 最大の値や最小の値を用いることがある。  
最大の値から最小の値をひいた値を分布の(ア            )という。
- (ア            )=(イ            )-(ウ            )
- ② 資料の特徴を調べたり伝えたりするとき, 1つの数値で代表させて, それらを比べることが多い。このような数値を(エ            )という。
- (エ            )のうち, 個々の資料の値の合計を資料の総数でわって求める値を(オ            )という。
- ③ 調べようとする資料の値を大きさの順に並べたときの中央の値を(カ            )または(キ            )という。
- (2) 次の問に答えなさい。
- ① A, Bの2つの中学校の男子バスケットボール部の垂直跳びの範囲をそれぞれ求めなさい。

答 A \_\_\_\_\_, B \_\_\_\_\_

- ② A中学校, B中学校の男子バスケットボール部員による垂直跳びの平均値をそれぞれ求めなさい。また, 平均値を比べて, わかることを□にかきなさい。

答 A \_\_\_\_\_, B \_\_\_\_\_

- ③ A中学校, B中学校の男子バスケットボール部員による垂直跳びの中央値をそれぞれ求めなさい。

答 A \_\_\_\_\_, B \_\_\_\_\_

1

垂直跳びの記録(cm)	
A中学校	B中学校
34, 44, 45,	67, 45, 72,
60, 39, 68,	38, 42, 51,
51, 76, 63,	55, 41, 36,
57, 68	65, 36, 40

(1)

① 資料の分布のようすを調べたり，伝えたりするとき，最大の値や最小の値を用いることがある。

最大の値から最小の値をひいた値を分布の(ア 範囲)という。

(ア 範囲) = (イ 最大の値) - (ウ 最小の値)

② 資料の特徴を調べたり伝えたりするとき，1つの数値で代表させて，それらと比べることが多い。このような数値を(エ 代表値)という。

(エ 代表値)のうち，個々の資料の値の合計を資料の総数でわって求める値を(オ 平均値)という。

③ 調べようとする資料の値を大きさの順に並べたときの中央の値を(カ 中央

値)または(キ メジアン)と

いう。

注 カ,キは逆でも可

(2)

① A中学校  $76 - 34 = 42$

B中学校  $72 - 36 = 36$

答 A 42 cm , B 36 cm

②

A中学校

$(34 + 44 + 45 + 60 + 39 + 68 + 51 + 76 + 63 + 57 + 68) \div 11 = 605 \div 11 \div 55$

B中学校

$(67 + 45 + 72 + 38 + 42 + 51 + 55 + 41 + 36 + 65 + 36 + 40) = 588 \div 12 \div 49$

答 A 55 cm , B 49 cm

解答例

A中学校のバスケットボール部員の垂直跳びの平均は，B中学校のバスケットボール部員の垂直跳びの平均よりもおよそ6cm高い。

③

A中学校の記録を小さい順に並べると34, 39, 44, 45, 51, **57**, 60, 63, 68, 68, 76となるから，中央の値は11名中6番目の値の57cm

B中学校の記録を小さい順に並べると36, 36, 38, 40, 41, **42, 45**, 51, 55, 65, 67, 72となるから，バスケットボール部員は12名で偶数であるから6番目と7番目の値の平均値を求めて

$(42 + 45) \div 2 = 87 \div 2 = 43.5(\text{cm})$

答 A 57 cm , B 43.5 cm